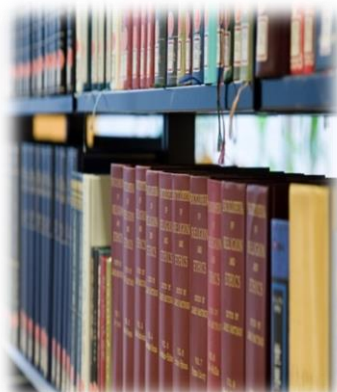




# 図書館だより



## トピックス

■ 1階の歴史展示コーナーで看護教育 125周年を記念した展示を開催中。明治から始まった本学の歴史を写真で見ることができます！

■ 図書館のくつろぎスペースをリニューアル！  
一目を気にせず、知らない人と対面しない工夫もされています。

■ 図書館ビューティークラブのことが、看護学生のための学習誌「ナースング・キャンパス」に掲載されました！

■ 本学の学生が利用できる他大学図書館は以下のとおりです。  
東京慈恵医科大学学術情報センター図書館／杏林大学医学図書館  
聖心女子大学図書館／実践女子大学・短期大学部図書館  
青山学院女子短期大学図書館

### ■ クイズに挑戦！

前図書館長（武井麻子先生）より図書館に小物や絵画が寄贈されました。その一部を、この図書館だよりで紹介しています。さて、どれでしょう？ 答えは図書館で。



図書館だよりは、毎回ちょっと新しいニュースをお伝えするとともに、お薦め図書や耳よりな図書館利用方法などを紹介します。

今年は、赤十字の看護教育が始まって125年、つまり本学の創立125周年にあたります。また、戦後70年でもあるため、少しずつ看護の歴史を紹介していきます。

第5号は、新任図書館長の逸見功先生にお薦めや、学生部会（TBC）の紹介をいたします。皆さま、図書館へぜひ足を運んでください。

### 図書館ビューティークラブ (TBC)

皆さんこんにちは！ TBCは、本好きの学部生や編入生、大学院生による有志の会です。1年半前に結成されて以来、TBCは数多くの企画を実現してきました。たとえば、ガラス張りの窓の近くにソファを置いて「くつろぎスペース」を作ったり、本学の歴代学長の著作を肖像画とともに紹介したり、学生目線で購入図書を選定したり。いわゆる“サークル活動”の1つなのですが、TBCのユニークな点は、教職員が組織する図書館運営委員会とタイアップして活動を行なっているところ。TBCの企画が実現につながりやすいのも、そのためかもしれません。

本学の図書館は、14万冊もの蔵書をほこる、看護系大学の憧れの図書館といわれています。もっと有効に活用してもらうには、学生が使いたい図書館にするのが一番です！

\*\*\*私たちと一緒に活動してくださる学生さんを大募集中です！まずは見学からどうぞ♪  
興味のある方は、谷津 [yatsu@redcross.ac.jp](mailto:yatsu@redcross.ac.jp) まで、ご連絡をお待ちしています \*\*\*



### 広尾館開館スケジュール

2015年4月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2015年5月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2015年6月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

9:30-20:00  
10:00-17:30  
閉館

### ☆チャンピオンの紹介☆

2015年1月、大学院実践助産学専攻の演習の際に、第1回ピブリオバトルを開催しました。ピブリオバトルとは知的書評合戦です。今回のお題は「早産児や治療を要する赤ちゃんとその家族、看護」。専門家の著書、親の体験集、小説、写真集、絵本、漫画・・・数々の名著の中から栄えある第1回チャンピオンに輝いた齋藤さんとチャンプ本をご紹介します。

第1回チャンプ本 「がんばれ!!小さき生命たちよ 一村田修一選手と聞哉くんとの41カ月」  
TBS サービス,2010.9

### ピブリオバトルを終えて

214M206 齋藤綾乃  
私がこの本を見つけたのは3年前の秋。勉強も部活もバイトも、何もかもが上手く行かないと感じていた時でした。この本を読んでいつも感じるのは「自分の悩みはなんて些細なことなんだろう」という思い。自分よりずっと小さくて、手の平に乗ってしまうような子が生きるために一生懸命頑張っていると思うと、何だかそれだけで「頑張ろう」という気持ちになれます。ピブリオバトルでこの本を紹介したのは、同じ夢を持つ仲間にもその気持ちを伝えたかったからです。本には映像や音楽では伝えることのできない「メッセージ」が含まれていると思います。その「メッセージ」の受け取り方は人それぞれ。自分なりに感じた「本のメッセージ」を伝えること、これがピブリオバトルで一番大切なことだと私は思います。一人でも多くの方にこの本を読んで頂きたいです。



## 図書館からのお知らせ

- 日本赤十字看護大学図書館 Facebook に是非アクセスを!
- TBCメンバーを随時募集中です。



## 新着図書情報

～4月の棚より～



選書ツアーで購入した図書

3月末日・・・。

1階の就職準備室に密やかに置かれていた国家試験対策の問題集や解説集たち。図書館へ大移動しました!!



皆さんからのリクエストが入っていたなぜ? どうして? シリーズから QB などなど・・・。なんと2016年度の最新版も発掘されました!

ぜひ、足を運んでみて下さいね。  
 <図書館運営委員 齋藤>



## 歴史発見! 第1回

2015年4月1日は、大学が開学した1890年4月1日から数えて125年目(「四半世紀」ともいいます)の記念の日。このコーナーでは、創立125周年を記念して、本学のなが〜い歴史のあまり知られていないお話をご紹介します。

1945年8月、日本は総力戦でのぞんだ戦争に敗北しました。その後7年にわたって日本を占領統治した連合軍は、国民の健康のための公衆衛生の向上こそが戦後復興のカギと考え、医療と看護のたてなおしを図ります。

米国公文書館 GHQ/SCAP Records には、現在の日本赤十字社医療センター、日赤中央病院の様子も見る事ができます。戦時救護のためつぎつぎと看護婦がいなくなり、病院は看護学生の労働力をたよりに診療をつづけていました。1945年10月の入院患者数は220名、看護婦30名と看護学生600名が看護を担っていたと書かれています。

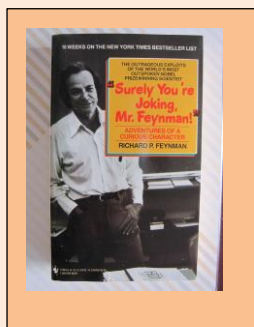
「病棟には雑役夫もいなければ、モップもないので、看護学生が毎朝、床みがき(「おみがき」とよばれた)とトイレの清掃をし、患者が食事をしたあとには血洗いをする。30人がしもやけで出血している」、病院から「学生が授業のために一斉にいなくなる」と困る。「夜は学生を病棟の当直室に泊まらせてほしい」との意見など。

背景には、戦後、傷病兵が撤退し、一般患者の診療による収入がおぼつかない病院の経営事情があったのですが、今日のわたしたちには想像もできないことです。

(次回続く)。<図書館運営委員 川原>



## 図書館長 逸見功先生のお薦め



若い皆さんはあまり知らないかもしれませんが、日本の朝永振一郎博士とともにノーベル賞を受賞したリチャード・ファインマンというアメリカの理論物理学者がいました(1918-1988)。

天才には奇行にまつわる逸話があるものです。ファインマンには逸話集が何冊もあって、いまでもわれわれをおおいに楽しませてくれます。そのなかでもお薦めは「ご冗談でしょう、ファインマンさん ノーベル賞物理学者の自伝1, 2」(岩波書店, 1986)です(写真は原書)。

彼のユーモラスな奇行の源は旺盛な好奇心と探究心です。様々なことに興味をもって疑問を自ら解決していくことで、人生を楽しく豊かなものとしています。

もちろん科学者として重要なプロジェクトにも参画しました。特に、スペースシャトル「チャレンジャー号」の事故原因を究明する調査委員として活躍したことは有名です。ファインマンを主人公としたテレビドラマ「Feynman and the Challenger」(2013)が作られたくらいです。残念ながら日本では放映されていませんが、福島原発事故に対してファインマンだったらどうしただろうかと想わざるをえません。

逸話は本に譲るとして、ファインマンの数多い名言からひとつだけ短くして紹介しましょう。「人間の精神の到達できる最高の形は笑いと人間愛だ。」

図書館が皆さんの好奇心に応え、さらに刺激するような存在でありたいと願っています。



勉強に疲れたら窓の外には青い空と新緑の景色でリフレッシュ! (修士1年)

僕をつかまえられるかな? (フタ)

